

## 教科シラバス（数 学 科）

科目名	数 学 II		履修学年	履修単位	履修形態	授 業 形 態	
			2	2	必 修	一 斉	
使用教科書・副教材・準備物							
高校数学II（実教出版）、高校サブノート数学II新課程版（実教出版）、ノート、タブレット							
科 目 の 概 要				学 習 目 標			
<p>「数学II」で学習する内容は4つの項目があり、第2学年では「複素数と方程式」、「図形と方程式」、「いろいろな関数」の3項目を学習し、「微分と積分」は第3学年で学習する。</p>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Iの内容を発展・拡充し、より広い数学的な資質・能力を身に付ける。</li> <li>・基本的な考え方をはっきりと意識させ、興味深い具体例によって深く理解する。</li> </ul>			
年 間 学 習 プ ロ グ ラ ム							
	学 習 内 容			学 習 の ね ら い			
1 学期	1 章 複素数と方程式 1 節 式の計算  2 節 複素数と2次方程式  3 節 高次方程式			<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な公式を使えるようにする。</li> <li>・整式の割り算の意味を理解する。</li> <li>・分数式の四則計算ができるようにする。</li> <li>・虚数単位を導入し、複素数を理解する。</li> <li>・一般の2次方程式が複素数の範囲で解けることを理解する。</li> <li>・簡単な高次方程式が解けるようにする。</li> </ul>			
2 学期	2 章 図形と方程式 1 節 点と座標 2 節 直線の方程式  3 節 円の方程式  4 節 不等式の表す領域			<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式を導き、それらが使えるようにする。</li> <li>・直線の方程式を求め、2直線の平行と垂直の条件を調べる。</li> <li>・円の方程式から、中心と半径を求め、直線との位置関係を理解できるようにする。</li> <li>・不等号の向きによって表される領域の違いを理解し、図示できるようにする。</li> </ul>			
3 学期	3 章 いろいろな関数  3 節 指数関数  4 節 対数関数			<ul style="list-style-type: none"> <li>・指数法則を使っていろいろな計算ができるようにする。</li> <li>・対数の性質を使っていろいろな計算ができるようにする。</li> <li>・指数関数や対数関数がいかなる分野において有効に利用されていること理解する。</li> </ul>			
評 価 の 観 点 及 び 内 容							
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な演算の性質や公式を正しく理解している。</li> <li>・事象を数学化し、数学的に解釈して、数学的に表現・処理することができる。</li> </ul>			主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に積極的に参加している。</li> <li>・数学の良さを認識し、数学を活用しようとしたり、粘り強く考え、数学的に判断し、問題を解こうとしている。</li> </ul>		
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の範囲や式の性質に着目し、目的に応じて適切に変形・処理することができる。</li> <li>・座標平面上の図形について、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現できる。</li> <li>・図形の性質や特徴を論理的に考察し、数学的に表現することができる。</li> </ul>						
評 価 方 法 及 び そ の 他 留 意 事 項							
<p>授業中の態度や小テスト、課題・ノートの提出状況を加味しながら、総合的に評価する。            定期試験は、70%程度で評価し、その他の評価物が30%程度で評価する。年間の成績は学期成績の平均とする。なお、課題や提出物については期限を守ること。</p>							